



2024  
8月

# 月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 240 号-①【基準日 2024 年 7 月 31 日】



## 🌸 社長メッセージ



### 「金利のある世界」でも慌てず冷静に

ありがとう投信株式会社  
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。猛暑が連日続いたり、集中豪雨で各地に被害が出ている状況ですが、いかがお過ごしでしょうか？これだけ過酷な天候が続くと体調を管理するのも大変な状況だと思いますが、くれぐれもご自愛ください。

さて、パリ五輪が開催されて連日熱戦が繰り広げられておりますが、先月のマーケットは英国総選挙やフランス国民議会選挙、米国大統領選挙動向や日米の金融政策の見通し等に大きく影響される相場展開になり株式市場は大きく上下動した1ヶ月でした。月中には日経平均株価や米国の主要株価指数は史上最高値を更新しましたが、米国では選挙集会中に共和党のトランプ元大統領が銃撃されるというショッキングな暗殺未遂事件が起きました。奇跡的に助かったトランプ元大統領の支持率が上昇する一方で、6月のテレビ討論会以降、支持率が低迷していた民主党のバイデン大統領が選挙戦撤退を表明し、ハリス副大統領が後継候補になる可能性が高まったことによって、米国大統領選挙の今後の行方が不透明になってきました。



また、日本では日銀が月末の金融政策決定会合で追加利上げを決定して政策金利を0.25%程度に引き上げました。FRBが9月に利下げする可能性を示唆したこともあり、為替相場は大きく上下動して、月前半の1ドル161円台から月末には1ドル150円を下回る水準まで円高が進みました。

そのような中で、ありがとうファンドは7/11に基準価額38,213円、純資産総額250億53百万円になり最高値を更新しましたが、月末にかけて大きく調整して月間で-5.7%の下落となりました。

今後の見通しですが、日米の景気動向・金融政策の見通しや11月の米国大統領選挙動向、長期化するウクライナ情勢や混迷する中東情勢、激化する米中対立などの地政学リスクに一喜一憂する展開が続きそうです。

米国の大統領選挙の動向によって、金融経済政策や移民政策、エネルギー政策などが大きく変更される可能性が高く、地政学リスクにも大きな影響を与える可能性があります。また、日銀が追加利上げと国債買入の減額を決定して、十数年続いた金融緩和から「金利のある世界」へ転換したことにより、マーケットと実体経済に与える影響は小さくないと思われます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



金利が付くことによって銀行業や預金者にはプラスになる一方で、有利子負債の多い企業や中小企業、既に変動金利で住宅ローンを借りている個人、これから住宅を購入する人にとって金利上昇は返済負担の増加につながるためマイナスになり、消費や景気にも悪影響が出てくるでしょう。

また、為替が円高方向に振れることで、輸入物価の上昇を抑えられる一方で輸出関連企業の業績にはマイナスの影響が出てくると考えられます。いずれにしても日本経済が利上げや金融引き締めにも耐えられるほど実体経済が本当に強いのかの見極めが大切で日銀は今後難しい舵取りを迫られるでしょう。



## 「金利のある世界」になっても慌てず冷静に

日本は過去20数年にわたってデフレ経済が続いてきましたので、ここ1~2年のコストプッシュ型の物価上昇に戸惑っている人も少なくないと思います。金利も金融緩和が長らく続き、ゼロ金利、マイナス金利が常態化していました。一方で、欧米各国はインフレ抑制のための利上げを昨年までに行き、金利もピークに達しており、今後は景気後



退を懸念して利下げを視野に入れている段階です。日銀が追加利上げを決定してゼロ金利を解除しましたが、タイミング的には完全に周回遅れと言わざるを得ません。実質賃金と実質消費のマイナスが継続している中での利上げは、日米金利差が縮小するので為替相場の円安是正効果は多少あったとしても、金融緩和に慣れ切った日本経済や家計にとって金融引き締めにも耐えられるだけの余力があるのかには疑問が残ります。

実体経済はそれほど良くない中、株価だけは史上最高値更新して資産効果が出ていたところで、利上げショックによって株価が下がれば逆資産効果で景気に悪影響を及ぼす可能性も十分にあり得るでしょう。また、今後、米国景気が悪くなり利下げが行われていく局面になれば、日本経済や企業業績にもマイナスの影響が出て来て、日本も再び金融緩和をする必要性が出てくるかもしれません。

マーケットは「金利のある世界」になった途端に利上げショックで株式市場は大きく調整していますが、こういう局面で大切なことは慌てず冷静になることです。大きく下落すると人間の本能では反射的に怖くなって狼狽売りや損切り、利益が出ている人はマイナスにならないうちに利益確定をしようと売り急ぐ傾向がありますが、過去のショックを振り返れば、しばらくすればマーケットは落ち着きを取り戻し、行き過ぎた株価は企業のファンダメンタルズに基づいた本来価値に回帰していきますので、冷静になって様子を見て長期的な時間軸で物事を捉えることが大切です。

今回のようにマーケットに大きな動きがあった時には、改めて資産運用の目的・目標を再確認してみると良いでしょう。将来のための資産形成だったり、余裕資金の運用であれば、今すぐにお金が必要なわけではありませんので、マーケットに居続けて長期投資を継続していくことが大切です。ライフプランに基づいて積立投資や資産運用、資産活用を続けていくことで、将来振り返ってみたときにあの時止めずに続けてきて良かったと思える日が来るかもしれません。長期の資産運用では、今後も大きなショックによる下落相場やバブルによる上昇相場が幾度となく起きると思われませんが、その度に右往左往したり、一喜一憂したりせずに、淡々と冷静に資産運用を継続していきましょう。

ありがとうファンドでは、今後も長期的な時間軸で運用をして短期的な相場動向に一喜一憂することなく、投資先ファンドを厳選してダウンサイドリスクを抑えながら、長期国際分散投資で世界経済の成長及び企業の利益成長の恩恵を享受し長期で安定した運用成果の提供を目指して参りますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

## ★ 積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすです♪

### 「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



### ①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



### ②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

### ③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	32,355円	+9.3%
3年	28,017円	+26.2%
5年	24,492円	+44.4%
10年	19,704円	+79.4%
初回(2004年10月)から	13,158円	+168.7%



**タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう！**

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果を得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	13万1139円
3年	36万円	45万4333円
5年	60万円	86万6202円
10年	120万円	215万3391円
初回(2004年10月)から	238万円	639万5462円

2024年7月31日現在(基準価額:35,358円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。  
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。  
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。



## 🌸 セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
事例で学ぶ相続問題セミナー 第2回 ～不動産相続にまつわる事例編～	8月18日 (日)	東京	10:00～ 11:30	弁護士 宇田川 高史 氏 (CLOVER法律事務所)
新投資先ファンド紹介セミナー	8月25日 (日)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
事例で学ぶ相続問題セミナー 第3回 ～相続ケース別事例と対策編～	10月6日 (日)	東京	10:00～ 11:30	弁護士 宇田川 高史 氏 (CLOVER法律事務所)

別紙セミナー案内もご覧いただければと思います。

## 🌸 住所変更手続きのお願い

お引っ越しをされてご住所が変わった場合は、書面でのお手続きが必要となります。

弊社から変更用紙をお送りいたしますので、ご記入・ご捺印のうえ、新しい住所が確認できる本人確認書類・個人番号確認書類を添付してご返送ください。

尚、お急ぎの場合は、弊社のホームページから変更用紙をダウンロードして印刷することもできます。

変更用紙のご請求・ダウンロードは、こちら(<https://www.39asset.co.jp/guide/change/>)をご覧ください。

## 🌸 「39紹介プログラム」好評実施中！ ～この機会にご家族ご友人に資産形成を勧めてみませんか？～

既に口座をお持ちのお客さまがご友人やご家族をご紹介していただいた場合に、弊社から感謝の気持ちを込めてプレゼント贈呈させていただきます。お客さまのご友人やご家族で、ありがとう投信に興味をお持ちの方がおられましたら、是非ご紹介をお願いいたします。

詳しくはこちら(<https://www.39asset.co.jp/service/campaign/shokai/>)をご覧ください。

ご家族・ご友人

# 39紹介プログラム

紹介を受けた方がありがとう投信の  
新規口座開設+定期積立1万円以上を  
6ヶ月継続していただくことで  
紹介したお客さまと紹介を受けた方に感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈!

3/9 START!

## 🌸 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！  
皆さまの金融リテラシー向上の一助にもなれば幸いです。

### 企業型 DC、転職・退職したらどうなる？

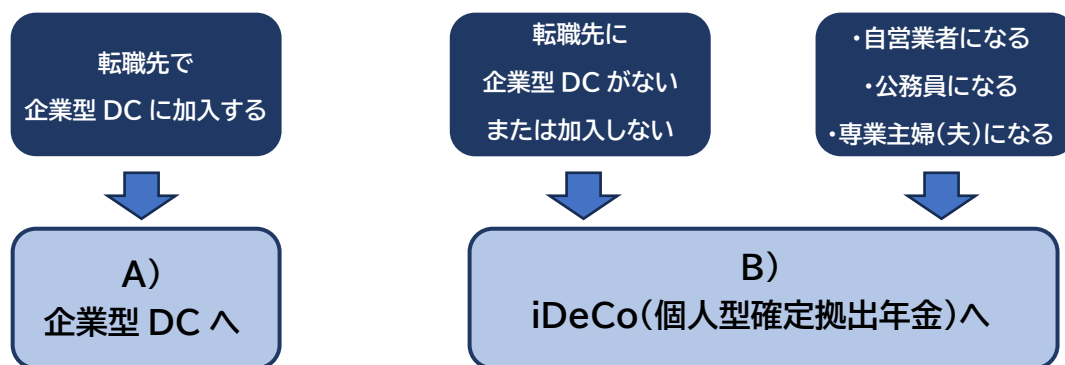
入社した会社で定年まで働く終身雇用が一般的だった時代から、近年では転職が当たり前になっています。転職時は何かと忙しく企業年金の移管手続きを忘れてしまい、そのまま放置されている資産も少なくありません。今回は、転職、退職時における企業型 DC の主な手続き方法や、手続きをしなかった場合のデメリットを解説します。



#### 転職後に必要な手続きは

##### ① 退職後の進路によって手続きが変わる

企業型 DC に加入している方が、その会社を退職した際には、企業型 DC の「移換手続き」が必要になります。この手続きはその後の進路によって異なります。また、転職先に制度があるかによっても違ってくるため確認しましょう。



##### A) 転職先に企業型 DC 制度があり、加入する場合

転職先に企業型 DC 制度がある場合、新たに転職先の制度に加入することで、これまで積み立てた資産と加入期間を移換することが可能です。この手続きは転職先で行いますので担当部署に確認しましょう。

##### B) 企業型 DC から iDeCo に移換

企業型 DC がない会社への転職する場合や加入しない場合には、iDeCo に移す必要があります。独立して自営業者になった人や公務員、専業主婦(夫)になった場合も同様に iDeCo に移換することになります。



iDeCo を取り扱っている金融機関(運営管理機関)は多数あるため、「手数料(口座管理手数料・信託報酬など)」「運用商品のバリエーション」「利便性・サービス対応」などをよく比較検討をして、金融機関を 1 社決めて加入手続きをします。加入申し込みから口座開設までには一般的に 1~2 カ月ほどの時間がかかりますので余裕をもって手続きを行いましょ。加入申し込みの際に「個人別管理資産移換依頼書」を金融機関にあわせて提出すると、これまで運用してきた企業型 DC の資産の移換手続きを行ってくれます。

## ② 移換完了後、運用商品を見直そう

今まで運用していた資産は一度現金化され、移換される金融機関が予め定めている預金や投資信託に振り分けられます。確定拠出年金は、それぞれの金融機関によって商品ラインアップが異なるため、新たに自分が運用したい商品への買い換えが必要です。

転職先の企業 DC に加入される場合は、会社が指定した金融機関を利用することになるため、運用商品もその金融機関が取り扱っている中から改めて選択することになります。転職前に運用していた商品に投資し続けられるとは限りません。

iDeCo に移換した場合は、移換完了の通知が届き、自分が運用したい商品と違う場合は、商品を選び直しスイッチングして運用を行ないましょう。



その他、転職先の確定給付企業年金(DB)や通算企業年金(企業年金連合会)に移管する場合、脱退一時金を受け取る場合などがありますので、各担当部署にお問合せください。

## 退職後に確定拠出年金を放置した場合どうなる？

### ◆企業型 DC は 6 カ月以内に手続きをしましょう

企業 DC の加入者が 60 歳未満で退職した場合、加入資格を喪失されてから 6 カ月以内に手続きを済まさなければなりません。

手続きをしないまま放置すると、自動的に積立金が現金化され国民年金基金連合会に移換されてしまいます。(=自動移換)

### ◆放置して国民年金基金連合会に自動移換された場合のデメリット

放置しておいてメリットは 1 つもなく、次のようなデメリットばかりです。

#### ① 年金資産の運用がされない

自動移換された場合、それまで運用していた資産は一旦すべて売却されて現金の状態に管理され、運用指図ができません。運用していれば本来得られたであろうリターンを得ることができなくなり、運用機会を逸することになります。また、長期間現金のまま放置すると、物価上昇により実質的な資産の価値が目減りしてしまうので注意が必要です。

#### ② 所定の手数料がかかる

運用できないうえに、下表の手数料が差し引かれてしまいます。

《自動移換に係る手数料》	支払い先		合計
	特定運営管理 機関	国民年金基金 連合会	
自動移換される際の手数料	3,300 円	1,048 円	4,348 円
自動移換されている間の管理手数料	52 円/月※	—	52 円/月

※自動移換された日の属する月の 4 カ月後後の月末までに移換等の手続きをしていなければ、その後から徴収されます。(例:11 月に自動移換→翌年 3 月分から徴収)



《自動移換後の手続きのための手数料》	支払い先		合計
	特定運営管理 機関	国民年金基金 連合会	
個人型確定拠出年金への資産移換	1,100円	2,829円	3,929円
企業型確定拠出年金への資産移換	1,100円	—	1,100円
確定給付企業年金への資産移換	1,100円	—	1,100円
一時金の受け取り	4,180円	—	4,180円

(出所:iDeCo 公式サイト)

[https://www.ideco-koushiki.jp/library/#archive entry\\_000062](https://www.ideco-koushiki.jp/library/#archive entry_000062)

### ③ 60歳になってもすぐに受け取れない場合がある

確定拠出年金を60歳で受け取るためには、通算加入者等期間が10年以上必要で、自動移換されている間はこの期間にカウントされません。通算加入者等期間が10年未満の場合には段階的に受取れる年齢が最高65歳まで先延ばしされます。老後の働きか方やライフプランにも影響しかねないので、移換手続きを忘れずに済ませるようにしましょう。

退職や転職となると生活も慌ただしく、手続きを忘れてしまったり、後回しにしてしまうこともあると思いますが、確定拠出年金は自分が積み立てた大事な資産です。気付いたら自動移換されていたとならないように、期限内に必ず手続きを行うようにしましょう。転職する前から、手続き方法などを予習しておくで安心ですね。



### 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2024年 8月分	7月4日(木)	7月25日(木)	8月6日(火)	8月16日(金)	8月20日(火)
2024年 9月分	8月5日(月)	8月27日(火)	9月6日(金)	9月17日(火)	9月19日(木)
2024年 10月分	9月5日(木)	9月25日(水)	10月7日(月)	10月16日(水)	10月18日(金)
2024年 11月分	10月3日(木)	10月24日(木)	11月6日(水)	11月14日(木)	11月18日(月)

### ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

8月5日(月)	銀行休業日	アイルランド	8月15日(木)	聖母被昇天祭	ルクセンブルグ
8月26日(月)	銀行休業日	ロンドン	9月2日(月)	労働者の日	ニューヨーク

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.40% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

■レポートで使用している指数・為替データの注記：騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

- 【日本株】→FactSet Market Indices Japan 配当込み(税引き前配当再投資)
- 【世界株】→FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)
- 【米国株】→FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)
- 【欧州株】→FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)
- 【新興国株】→FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)

### ■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

### <免責事項 | Disclaimer>

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。





# 事例で学ぶ 相続問題セミナー

今年も宇田川先生の事例で学ぶ法律セミナーを全3回で開催いたします！

今年『事例で学ぶ相続問題』として、相続全般の事例から不動産の相続にまつわるトラブル事例、おひとり様や夫婦のみでお子様がいないケースなど相続ケース別の事例と対策までを全3回に分けて取り上げて皆さまと一緒に学んでいきたいと思っております。

第1回

2024年6月30日(日) 10:00~11:30  
～相続全般の事例編～

第2回

2024年8月18日(日) 10:00~11:30  
～不動産相続にまつわる事例編～

第3回

2024年10月6日(日) 10:00~11:30  
～相続ケース別事例と対策編～

会場

ありがとう投信株式会社 本社3F  
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9

参加費

無料(弊社お客様限定)

講師



CLOVER LAW OFFICE

弁護士 宇田川 高史氏  
(CLOVER 法律事務所)



お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ

URL : <https://www.39asset.co.jp/seminar/info/> フリーコール : 0800-888-3900